

## 子どもの医療費助成制度の拡充を求める要望決議

近年、急速に進む少子化の中で、子育てを支援するための各種施策が図られている。御坊市においても早くから乳幼児医療の無料化に取り組み、また、昨年からは人口増加を図る観点から他の市町村にはない第3子以降子育て応援給付金の創設や本年には子宮頸がん予防ワクチン接種補助を先駆けて開始してきたところである。

そうした中、本市においては平成18年10月以降、小学校就学までの医療費を入院時だけでなく通院にも助成を行い経済的負担の軽減を図っているが、小学校就学後においても病気やスポーツ時などに起こる突発的なけが等により子育てに係る医療費の経済的負担は大きな不安要因となっている。

子どもは各家庭の宝であるとともに地域社会全体の宝でもあることから、子どもたちの健やかな成長と発達を願い、小学校就学後の子育て世帯の医療費負担についてもその軽減を図る必要があると考える。

よって、持続可能な町づくりを目指し、次世代を担う子どもたちの健康保持、増進と安心して子どもを産み育てられる環境づくりの一環として、財源の検討を十分行った上、国、県へも働きかけつつ、医療費助成制度の拡充を早期に図られるよう求めるものである。

以上、決議する。

平成22年12月15日

御坊市議会

御坊市長 柏木征夫 殿